

三心を磨く

学校だより No. 2

令和3年5月17日(月)発行

須坂市立東中学校

文責：嶋田 和美 (教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

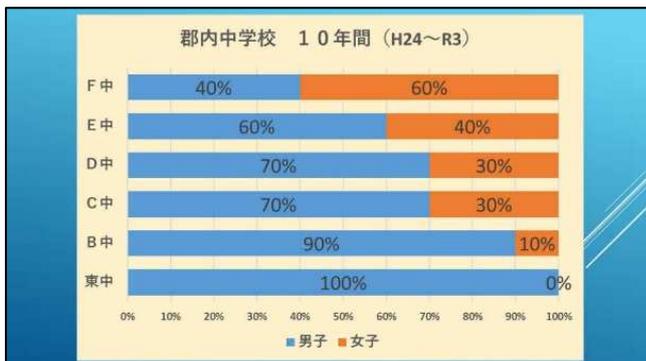
5月の校長講話より ～東中の○○○○○○○に女子は1人もいない

5月の校長講話は、今年度よりスタートした GIGA スクール構想の1人1台端末(タブレット型 PC)を活用した実践として「Google classroom を活用したオンライン対話型」で行いました。生徒に問いかけながら Google フォームにて、その場で、生徒の考えや感想を取り入れ、話を進めていきました。

2つのグラフは何を表していると思いますか

おはようございます。今日は、SDGs に関わる身近な問題について皆さんと考えたいと思います。

 **SDGs 持続可能な開発目標**
2015年9月に国連で合意 2030年までに達成すべき世界共通の17項目の目標



このグラフは、ある事柄について、須高地区6中学校の、今年も含めた過去10年間の男女の割合を表しています。

一番下の東中は、男子が100%です。B中学校は男子90%、女子10%。C中学校とD中学校は、男子が70%で女子が30%。E中学校は60%と40%。F中学校は、男子40%、女子60%です。



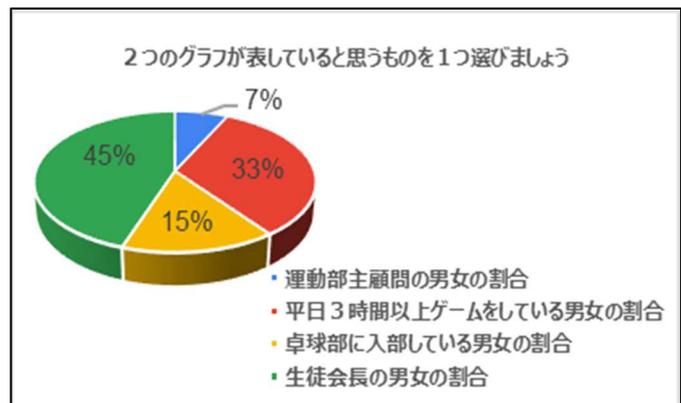
もう一つグラフを見てください。先ほどのグラフと同じ事柄について、長野県の中学校全体で、この5年間、男女の割合がどう変化してきたかのグラフです。5年前の平成28年度は、男子が80%、女子が20%でしたが、翌年には、女子が25%に増え、この3年間は、男子70%、女子30%が続いています。



Google フォームによるアンケート実施

それでは皆さんに質問です。「2つのグラフは何を表していると思いますか？」 Google Classroom にアンケートを投稿しましたので、Google フォームで回答して送信しましょう。

みなさんの予想では「運動部主顧問の男女の割合」が「7%」、「平日3時間以上ゲームをしている男女の割合」が「33%」、「卓球部に入部している男女の割合」が「15%」、「生徒会長の男女の割合」が「45%」と「生徒会長の男女の割合」が一番多いですね。正解は、後で発表します。



これは、去年の10月の校長講話で使った写真です。2・3年生は覚えていますね。

左側のEUの人たちと右側の日本の人たちの特徴を考えました。

日本側は、「男性ばかり」「年齢層高い」EU側は、「女性が多い」「若い人も」いろいろな特徴が挙げられましたが、多かったのはこの4つの特徴でした。

そして、前回3月の校長講話では、SDGsの視点から、この写真は「ジェンダー平等を実現しよう」に関わる写真だと確認しました。



ジェンダーってなに

「女の子だから～」「男の子だから～」と言われたことはありませんか？

ここで、ジェンダーについて理解を深めましょう。「女だから、男だから」と言われたり思ったりした経験は誰しもあると思います。男女の違い、これを「性差」といいますが、大きく2つあります。

1つは体のつくりの違い。2つ目が社会的・文化的な役割の違いです。

この社会的・文化的な役割の違いについては、小さい頃からすり込まれて、無意識のうちに「男性はこうあるべき」「女性はこうあるべき」という性差へのイメージを持つようになります。これを**ジェンダー**と言います。

男女の違い（性差）

- ①体のつくりの違い
- ②**社会的・文化的な役割の違い**
⇒ 「男性（女性）はこうあるべき」

みんなが**無意識に持っている（すり込まれている）性差**へのイメージ

⇒ これを**ジェンダー**と言います

【例】「外で働くのは男性で、家のことをするのは女性」
「男性は青、女性はピンク」

どんな人物を思い浮かべますか？

では、1枚の写真と説明を見てみましょう。どんな人物を思い浮かべますか。

交通機動隊の白バイ隊員の巡査長。特別機動取締係に勤務。白バイを駆使し、悪質な交通違反者の検挙に尽力。さて、どんな人物を思い浮かべましたか。



交通機動隊の白バイ隊員 巡査長

福岡県警察本部交通機動隊特別機動取締係に勤務。機動力のある白バイを駆使し、悪質な交通違反者の検挙に尽力。



福岡県警察本部交通機動隊
特別機動取締係 巡査長
高橋祥子さん

では、その人の写真を見てみましょう。**高橋祥子**（たかはし しょうこ）さんという女性です。

とっさに、または何のためらいもなく「男性の警察官」を想像した人はいませんか？最初の写真と説明で、とっさに男性の警察官を思い浮かべた人は、「交通機動隊・白バイ＝イコール男性」という無意識の思い込み・先入観が働いたのだと思います。

その反応こそが「アンコンシャス・バイアス」と呼ばれる「無意識の思い込み・先入観」です。性別による固定的な役割分担意識は、ジェンダー平等の実現をはばむ社会課題となっています。

引用：福岡県女性の活躍ポータルサイト

https://joseikatsuyakuontai.pref.fukuoka.jp/unconscious_bias/

日本の総合順位は 153 カ国中



今年の3月に、世界153カ国を対象に、男女格差を測る「ジェンダーギャップ指数」が発表されました。

日本は、総合順位が153カ国中120位でした。もともとなる政治・経済・教育・健康の分野別に見ても、男女格差は大変厳しい状況です。先ほどの写真の日本側とEU側の違いにも現れています。

さて、お待たせしました。最初の課題「2つのグラフは何を表していると思いますか？」の正解です。正解は、「生徒会長の男女の割合」でした。

あなたは、この事実についてどう思いますか

東中はこの10年間生徒会長は全て男子でした。そこで、あずま山岳で60年前までさかのぼって調べてみました。その結果です。

それでは、最後の課題です。「東中の歴代生徒会長に女子は1人もいない」というこの事実について、あなたはどう思いますか。問2の課題をGoogle Classroomに投稿しました。フォームにあなたが思うことを書いて送信してください。必要なら、周りの人と意見交換をしてもかまいません。それではどうぞ。



まだ一生懸命考えている人も沢山いると思いますが、1時間目の授業に遅れないために、講話はここまでとします。まだ送信してない人は、休み時間などを使って、後で送信してください。できるだけ今日中をお願いします。後日、皆さんの考えを共有できる機会を取りたいと思います。今日は、身近な問題からSDGsのジェンダー平等について考えました。おわります。

この事実について、あなたはどのように思いますか。～生徒の自由記述から一部

- 生徒会長は、男子だけとは決まっていなかったから、女子もやってもいいと思った。
- 男子も女子も生徒会長をやっていたと思ったが、歴代の東中で生徒会長を女子が一人もやっていない事にとても驚いた。
- 別に悪い事ではないと思う。でもやっぱり自然に生徒会長は「男子」みたいなのがあるんだと思う。
- この中学校の会長として、頑張ってくれるならどっちでもいいと思った。
- 少しかたよっているなと思った。そんなイメージがついてしまっているのかなと思った。
- 男子が生徒会長になるのは当たり前と私も思っていたので男女の差は身近なところにあるんだなと思いました。
- 女子がいないのはあまりいいことではないと思いました。女子の立候補者がいなかったんだと思います。
- 生徒会長が今まで一人もいないことにとても驚きました。多分、今も無意識に学校の先頭に立つのは男子という先入観や、気持ちがあっという現状なんだと思いました。まだ、ジェンダー平等ではないんだなと思いました。
- 男女の格差は、社会の中で問題になっているので思い込みは、さげたいと思った。
- 60年前から男子が生徒会長をやるのが染みついている女子がやることに少し抵抗があるんじゃないかと思う。でも今の日本の状況を考えれば女子でも別にいいんじゃないかな、と思いました。
- まず、立候補する時点で女子には生徒会長は男子という固定概念みたいなものがあって、立候補しても全校の人も少しはそういう固定概念みたいなものがあって投票している部分もあるのかなと思った。
- 生徒会長が男子というイメージがついてしまっているから女子が立候補しづらい。
- 生徒会長は男子が担う仕事と思っている人たちはそう少なくないと思います。しかし、歴代の生徒会長に女子がいないから男女差別だ、だとか、生徒会長は男子がやるべきことだ、だとか、そういう考えは別に必要ではないと思います。理由として、クラス・学年で推薦された人たちがそのような立場になると考えるので、別に何もおかしくはないと思います。
- 長い間1人も女子の生徒会長がいない一人もいない事にすごい驚いた。男子として少し嬉しかったです。
- 会長は男子、という印象が強いので、固定概念もあると思います。女子も会長になったほうがいろいろな意見が出て、良いと思います。
- 60年間、誰も生徒会長がいないと、もし女子で生徒会長になりたい人がいても言いにくかったりすると思う。そういう歴史が当たり前みたいなものになってしまっている気がする
- 私は生徒会長が男子しかいないことに驚きました。委員長では活躍している女子はいるのに生徒会長になった人がいないのはおかしいと思います。私は生徒会長になりたいと思っていたのでちょっとがっかりしました。
- 女子の方がおとなしいイメージがあって男子の方が生徒会長のイメージがある。こう言うようなイメージを変えていかなければならない。
- なんでとシンプルに思いました。生徒会長は男子だけというルールはないので性別に関係なく誰でも生徒会長になっていいと思いました。
- 生徒会長に向いている人がなればいいと思う。性別などは関係ない。
- 正直、小学校の時、私たちのクラスは生徒会長が女子だったからとても驚いた。
- 自分たちの知らないうちに自然と「重要な役は男性がやるものだ」という意識があったのだということを感じた。立候補する側と投票する側の両方にそういった意識がある結果が反映されているのかもしれないと思った。



動詞



形容詞

上の図は、テキストマイニング（使用頻出が高いワードを抽出し、可視化する機能）を使って生徒の記述の傾向を可視化したものです。動詞で見ると「思う」「かたよる」「ざらかる」（「(やり)づらい」を逃げ出す意味の「ざらかる」と判断)「驚く」「染みつく」、形容詞で見ると「言にくい」といったワードの使用頻出が高いことから、まず「東中の歴代生徒会長に女子は1人もいない」ことに「驚き」、そして「染みつく」「言にくい」等、生徒なりの原因を考えたことが分かります。



今回の校長講話では、「東中の歴代生徒会長に女子は1人もいない」という身近な現状を通して、自分事として「ジェンダー」について考えることができました。

今後、SDGsの「ジェンダー平等」について、学校だけでなく、保護者の方、地域の方からの知恵を借りながら、自分たちで新たな方向性を模索していける大人になっていくことを期待しています。